

- 日 時 平成25年7月11日（木）10：41～12：02
- 場 所 中央合同庁舎4号館共用第2特別会議室
- 出席者 久間議員、原山議員、青木議員、内山田議員、中鉢議員、橋本議員、平野議員、大西議員
阪本内閣府審議官、松山官房長、倉持統括官、中野審議官、森本審議官、山岸審議官

○ 議事概要

議題1. 平成24年度科学技術戦略推進費 緊急研究の結果報告

- 原山議員 議題1は平成24年度科学技術戦略推進費 緊急研究の結果報告ですが、農林水産省から説明して頂きます。

<農林水産省 中谷研究統括官から説明>

- 原山議員 それではコメント、御質問等ございましたらどうぞ。

- 大西議員 相澤前議員と私が担当して、何回か議論を一緒にさせて頂いて、こういう格好でまとまったということで、先日も相澤前議員にも来て頂いて議論したのですが、共通するコメントとしては、今日、少しそれを反映もして頂いて、最後に成果の活用というところに触れて頂きましたけれども、こうした調査を踏まえて、最終的にはこの基準値を超えるものが市場に出ない、そういう体制をどう作るのかということと、それをずっと続けていけば、風評被害もだんだん収まってくるのだらうと思いますが、米と違って他の作物については全袋調査というのが行われていないので、まだ基準値を超えているものが獲れているということです。そういう場所については重点的に検査を徹底して、市場にそういうものが出ないということ、かなり重視していく必要があるのではないかと。最終的には、これは消費者、生産者が安心して作物を作ったり消費出来る体制をどう作るかということなので、そこに結びつける。これは、基礎的な研究も含んでいるので、いきなり政策というところではないと思いますが、そこに上手く使っていくということが必要ではないか。最後のところで、少し触れて頂いたのかなと思います。

それから、相澤前議員は専門なので、1つだけ紹介すると、資料10ページのこの絵がプリミティブだと。もう少し専門家にもピンとくるような絵にしてくれというコメントが、確かあったと思いますけれども、それは少し時間がかかるのかもしれないので、吸収して頂ければと思います。

- 中鉢議員 資料の10ページと5ページの関係で、少し細かい話かもしれませんが、この場合、溶存態と懸濁態と言っているのは、懸濁態は固定態のことを言っているのですか。

- 中谷研究統括官 懸濁態というのは、水中に漂っている懸濁物質、SS（suspended solids 浮遊物質）の中にくっついているものです。そのくっつき方が固定態であるか、或いは単に電気的な力によってくっついている交換態であるかというのは分かりません。ですので、懸濁態には、端的に申し上げれば、固定態と交換態を含んでいると考えて頂ければ宜しいかと思います。

- 中鉢議員 そうですか。サスペンションだと思ったのですが、それは固体として、固・液、両方あると。そうすると、これはフィルターでとれるものなのかなというふうに感じたのですが、まあ、いいです。それで、違うにもかかわらず、水稻の吸収に及ぼす影響が異なると結論づけますと、これは溶存態と懸濁態によって、今の説明と何が異なるのですか。

- 中谷研究統括官 5ページで御説明した溶存態は、これはほぼ、この10ページの水溶性セシウムとお考え頂いて宜しいかと思います。一方で、懸濁態の方は、この固定態セシウムと交換態セシウム、例えばこの青で書いてございます粘土の粒子が水中に浮遊しているSSであると考えて頂きますと、その中には、植物に吸収し得る分画と植物が吸収し得ない分画が入っていると考えて頂ければ宜しいかと思います。

- 中鉢議員 資料5ページの「影響が異なる」というのは、どの図を見ると異なると分かるのかなと思ったのですが、懸濁液も溶存態になってくるのは、濃度は同じですよ。濃度が同じ、リッター当たりベクレルの。

○古賀研究専門官 これまで森林等の渓流水の調査をしますと、溶存態は低い濃度であるのですが、懸濁態は場合によっては高くなるということが分かっております。一方、植物の吸収については、セシウム濃度、溶存態濃度の異なる灌漑水を与えてポット試験を行い、溶存態と懸濁態の作物への吸収の度合い等を調べた結果が既にございます。それを少しここに書かせて頂いております。

○中谷研究統括官 検出限界について補足致しますと、従来の方法では長時間をかけたとしても、検出限界は0.2Bq/Lでございます。今回、実際に福島の実地で測定した値は、懸濁態が大体0.05、溶存態がそれよりは少し低い数値で、これを従来法で測ると、明らかにND（不検出）となり、解析が出来ないという状況になります。

○原山議員 時間も限られていますので、その他御意見がなければここで終了させて頂きませんが、宜しいでしょうか。それでは、議題1を終了致します。

議題2. 科学技術イノベーション予算戦略会議（第2回）について

（率直な意見交換の場とするため非公開）